

研究課題名	ステロイド治療が巨細胞性動脈炎に及ぼす組織学的変化
研究の意義・目的	巨細胞性動脈炎は不可逆的失明を避けるため確定診断前にステロイドパルス治療を施行されることがあります。この治療により病理組織所見は影響を受けることが考えられますが、この変化を体系立ててまとめられた文献は未だありません。これらを詳しく調べることにより、この疾患の診断・治療に役立てます。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2022年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2015年1月～2021年3月に大阪市立大学医学部附属病院にて側頭動脈生検術を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【病理組織標本】 診療情報等：【病歴、治療歴、診断名、年齢、性別、検査データ、エコー所見】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院病理診断科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院病理診断科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 診断病理・病理病態学 研究責任者 田中さやか
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 診断病理・病理病態学 (担当者氏名) 田中 さやか 電話番号：(06) 6645-3741 メールアドレス：wshindan@med.osaka-cu.ac.jp